

県内市町村長の皆様へ

報道されていますとおり、本市では新型コロナウイルス感染症にかかる飲食店クラスターが発生しており、その解明と感染拡大防止に全力を尽くしております。

私は、現状認識として、この飲食店クラスターに対し強い危機感を感じており、下記の2つの観点から問題意識を持っています。

(問題意識について)

まず、1点目は、飲食店の従業員及び顧客には子どもがいるということです。

昨日4月5日、この飲食店の従業員のPCR検査を実施しました。11名の検査を行い、7名が陽性でした。また、顧客についても陽性の患者が出ており、この方の濃厚接触者のPCR検査を行ったところ、子ども1名が陽性でした。全容解明には多くの時間を要するため、現時点において解明できておりませんが、従業員や顧客からその子どもたちへの感染リスクが高いと言わざると得ないと考えております。

このため、クラスターの解明と感染拡大防止対策がまだ途上である現状においては、学校再開によりさらなるクラスターの発生が予見されると判断し、小中学校、特別支援学校等について4月19日まで臨時休業とすることを本市教育委員会に要請し、決定されました。

2点目は、クラスターを止めるためには、岐阜市民の協力、特に大人の協力が不可欠であるということです。

学校を臨時休業にすることは、子どもたちに大きな負担を求めることです。こうした負担を求めている以上、大人はクラスターを止めるべきであり、また、新型コロナウイルス感染拡大防止に最大限の協力をすべきではないかと思えます。

このため、今回の事実を受け止め、これ以上広げない行動を市民の皆様にお願ひしました。特に飲食店クラスターが発生したお店の顧客には、大人の責任として、ぜひ帰国者・接触者相談センターにご連絡いただくようお願いしました。また、市民の皆様には不要不急の外出を控えていただくよう改めてお願いしました。

加えて、岐阜市民全員が自分自身や大切な家族、友人、職場の仲間を守るために、今一度、一人ひとりの行動が適切であるのかということを見つめ直していただくようお願いしました。

新型コロナウイルスとの戦いは長期戦です。市民の皆様には厳しい戦いが続くということの覚悟を持っていただき、すべての岐阜市民が一致団結して、私と一緒に戦っていただくよう強くメッセージを発したところであります。

(県内市町村長の皆様へ)

しかしながら、これは岐阜市民だけの問題ではありません。従業員や顧客には、岐阜市以外に在住の方も含まれることが予想されます。この飲食店クラスターは岐阜市の問題だということではなく、オール岐阜の問題であると考えております。

この飲食店に勤めている方、さらには、顧客として来店された方が一人でもいれば、それらの方がそれぞれの地域に帰り、家族に、友人に、近隣の方に感染させている可能性は十二分に考えられます。

ぜひオール岐阜という危機感を私たち全員が持って、すべての県民、市民の皆様の命を守るべく、一人ひとりが立ち上がり、戦っていただけますよう心からお願い申し上げます。

令和2年4月6日

岐阜市長 柴橋 正直